

予備寄主請求は管轄国際予備寄査機関へ直接行わなければならない。 2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

IPEA/ JP

特許協力条約に基づく国際出願

第Ⅱ章

国際予備審査請求書

出願人は、次の国際出顧が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

	国際予備審查機關記入欄					
	国际工作者完全		: 1	4. 1. 05)		
国際予備審安機関の確認		請求客の受理の日	<i>j.</i>	受領印		
第1欄 国際出願の表示	-		出願人又は代理人の E 0 4 0	各類記号		
国際出願番号	国際出願日 (日. 月. 年)		優先日(最先のもの			
PCT/JP2004/007709	03. 06. 2004		05. 06. 2003			
差明の名称						
 軽質炭酸カルシウム、その勢	製造方法及びそれ	れを用いた製紙	内填用填料			
第11欄 出願人						
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人 名も記載)	は公式の完全な名称を記載	は;あて名は郵便番号及び日	電話番号:	042-557-3111		
奥多摩工業株式会社	奥多摩工業株式会社		ファクシミリ番号:	042-557-4809		
OKUTAMA KOGYO CO., LTD. 〒160-0022 日本国東京都新宿区新宿2丁目5番5号 5-5, Shinjuku 2-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0022			加入電信番号:			
			出顧人登録番号:			
JAPAN			<u> </u>			
日本国 JAPAN		住所 (国名): 日	本国 JAPAN	Ī		
山下 一夫 YAMASHITA, Kazuo 〒160-0022 日本国東京都第 c/o OKUTAMA KOGYO C Tokyo 160-0022 JAPAN	「宿区新宿2丁目	5番5号 奥多	隆工業株式会	1		
B降 (周名): 日本国 JAPAN		住所(国名): 日	本国 JAPAN	7		
ES (名称) BUST名: (姓, 名の順に記載: 法人は公式の完全な名称を記載: あて名は郵便番号及び図名も記載) 下野 和久 SHIMONO, Kazuhisa 〒160-0022 日本国東京都新宿区新宿2丁目5番5号 奥多摩工業株式会社内 c/o OKUTAMA KOGYO CO., LTD. 5-5, Shinjuku 2-chome, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0022 JAPAN						
^{国籍(图名):} 日本国 JAPAN		住所(图名): 日	本国 JAPAI	V		
し その他の出願人が検薬に記載されている。						

様式PCT/IFEA/401 (第1用紙) (2004年1月版)

		国際田顧番号
2) 頁	PCT/JP2004/007709
第1欄の続き 出願人		- 1
この第『個の接きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書		
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名	称を記載:あて名は郵便番号及び国名も記]载)
河津 徹 KAWAZU, Toru 〒160-0022 日本国東京都新宿区新 c/o OKUTAMA KOGYO CO., LTI Tokyo 160-0022 JAPAN		
B等 (B&): 日本国 JAPAN	住所 (图名): 日本国	JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名。		-
高野 達夫 TAKANO, Tatsuo 〒160-0022 日本国東京都新宿区新 c/o OKUTAMA KOGYO CO., LTI Tokyo 160-0022 JAPAN		
SFF (图名): 日本国 JAPAN	(LFF (BA): 日本国	JAPAN
名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名詞	 休を記載:あて名は郵便番号及び国名も記載	赵
·		
瑶(国名) :	住所 <i>(国名)</i> :	
名(名称)及びあて名:(姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称	を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載	<i>()</i>
羅(固名) :	住所 (国名):	

様式PCT/1PEA/401 (校業) (2004年1月版)

その他の出顧人が他の続葉に記載されている。

	国際出願番号
	PCT/JP2004/00770
第皿欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名	
下記に記載された者は、	
氏に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。	
今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表者は解任された。	•
既に遺任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手抜きのため	に、今回新たに選任された者である。
5名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び	電話番号:
名も記載)	03 - 3591 - 7670
9985 弁理士 多田 公子 TADA, Kimiko	ファクシミリ番号:
9976 弁理士 宮川 佳三 MIYAGAWA, Keizo	03 - 3591 - 7671
〒100·0013 日本国東京都千代田区霞が関3丁目6番15号 グローリアビル9F	加入電信番号:
Gloria Building 9F, 6·15, Kasumigaseki 3·chome, Chiyoda·ku, Tokyo 100·0013 JAPAN	代理人登録番号:
通知のためのあて名:	
代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載して	(いる場合は、レ印を付す。
第IV欄 国際予備審査に対する基本事項	
正に関する記述:・	·
!. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。	
出顧時の国際出顧を基礎とすること。	
明細書に関して 出願時のものを基礎とすること。	
ドキャック から	ステレ
請求の範囲に関して 出顧時のものを基礎とすること。	
特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正(添付した設	明書も含む)を基礎とすること。
特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とす。	ること。
レ 図面に関して 上 出顧時のものを基礎とすること。	
特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とする	5 z
2. 出版人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、項	なり消されたものとみなしで開始することを希望する。
3. 出顧人が国際予備審査の開始を規則 6 9. 1 (d) に基づき適用される期間の演了まで延り	切することを希望する。
4. 出顧人が国際予備審査を規則54の2.1(a)に基づき適用される期間の滴了よりも早	(開始することを明示的に希望する。
2人がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関が補正(原本又は写し)を受領していないときは、出 2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正(原本又は写し)を受領したときは、こ	顔時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、 れらの補正を考慮して予備審査が開始又は接行される。
見予備者者を行うための音番は、日本語 であり、	
レ 国際出願の提出時の言語である。	
国際調査のために提出した翻訳文の言語である。	
国際出顧の公開の書語である。	
国際千偏審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。	
♥♥欄 国の選択	
、 V MM	

			i	国際出顧番号	
				PCT/JP200	04/007709
4					
第VI欄 照合欄					
				F160 35 68	審查機関
この国際予備審査請求者には、国際予備審査のために、第IV機に記載する哲 下記の審額が添付されている。	語による			図は、これ	
Laborat Mail Can Co. Di			1	受 領	未受領
-					
1. 国際出願の翻訳文			枚	<u></u>	ᆜ
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書	:	3	枚	ليا	
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書 (又は、要求された場合は翻訳文)の写し			枚		
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書	•		``		لــا
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し	:		枚		
5. 書簡	:	ſ	枚	T	
6. その他 (書類名を具体的に記載):					
COL CAR CHANGE			枚	البيل	السا
この国際予備審査請求客には、さらに下記の書類が添付されている。				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
-					
1. 上 手數科計算用紙				ついての説明書	
納付する手数科に相当する特許印紙を貼付した書面	· parady	•		な形式による配列表	
レ国際事務局の口座へ接込を証明する書面				な形式による配列表に	関連するテーブル
2. 個別の委任状の原本	8. その他	(書類名を具)	体的に	2歳):	
3 包括委任状の原本					
4包括委任状の写し(あれば包括委任状番号):					
等VIMI 出版人、代理人又は共通の代表 \$人のES (名称) を記載し、その次に押印する。	で書の記名	5押印	-		
(運動) (運動)					
多田 公子 宮川 佳 三					
国際予備審查	機関記入	有關			
1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日					
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求審の受理の日の訂正後の日付					
3. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。					
ただし、以下の 4,5 の項目にはあてはまらない。 出類人に通知した。				圣過後の国際干備審査。 にあてはまらない。	育求春の受理。
ロ朝人に週知した。 4. 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内	7				201/201
の国際干値審査論求書の受理		0.5 により延 原子偏春査新		かられている規則 54 ⊄)受理。	ノ 2.1(a)の朝限
5. 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが	8. 規則 5	i4 Ø 2.1(a)σ	期間の	経過後の国際予備審査	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
規則82により認められる。		が規則 82 に			いの小日ン文佐
国際等務	B to 7	49.7			
1997 1999 1999	局配入	TIRL . PRINCE			·
県予 <u>備審査</u> 請求書の国際予備審査機関からの受領の日:					

株式PCT/IPEA/401 (最終用紙) (2004年1月版)

特許協力条約に基づく国際出願

手数料計算用紙

国際予備審査請求書の附属書

国際出願番号		除予備審查機関記入欄
PCT/JP2004/007709		
出願人又は代理人の書類記号		
E04002PCT	国際予備審查機関	の日付印
出顧人	L	
奥多摩工業株式会社		
所定の手数料の計算		
1. 特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律(国内法) 第18条第1項第4号の規定による手数科 (予備審査請求料) <i>(注1)</i>	36,000	FI P
2. 取极手数料 <i>(注2)</i>	17,600	н н
3. 所定の手数料の合計		
P及びHに配入した金額を加算し、合計額を合計に記入	53,600	FI
	合 計	
(注1)	「は、特許印紙をもって納付しなけれん	ta a tall
(注2) 取扱手敷料については、国際予備審査機関である日本国 毎り込みを証明する審面を提出することにより納付した。	・ 特許庁の長官が告示する国際事務局の	
		



36,000円 予備審查手数料

取扱手数料

17,600円

 $\overline{}$